

2017年8月吉日

各 位

銀行業務検定協会
事務局長 廣瀬智人

銀行業務検定試験「法務3級」「法務4級」科目構成変更のご案内

先般、「法務3級」「法務4級」試験の科目構成ならびに合格基準の見直しにつきまして、同試験を団体受験していただいている団体様を中心にアンケートを実施いたしました。弊会では、このアンケート結果を踏まえ、

○「法務3級」につきましては2018年6月実施予定の第140回銀行業務検定試験より、「法務4級」につきましては2018年10月実施予定の第141回銀行業務検定試験より、試験科目構成を、別紙のとおり変更

することといたしました。

今回の科目構成変更は、時代とともに変遷を重ねる金融取引と、そのルールに関する金融法務の現状を踏まえ、本2種目をより実務に則した内容にすることが目的です。アンケートの集計結果につきまして、事務局で検討の上、決定いたしました。

なお、【新科目構成】においても、預金、融資、手形・小切手等の基礎知識の習得は重要であるとの基本方針に変わりはなく、出題範囲・内容に大きな変更はありません。

銀行業務検定協会は、今年の7月で設立50年を迎えました。

最初に実施した種目が法務3級であり、4級、2級とともに、法務検定試験を金融機関行職員の皆様にとっての最重要種目として考えております。これからも法改正、制度改正はもとより、時流に則した出題を心掛けてまいります。

今後とも変わらぬご利用を賜わりたく、あらためてお願い申し上げます。

以上

1. 法務3級

【新科目構成】

〔出題形式・科目〕 五択一式 50 問（各 2 点）

- (1) 預 金 10 問（定期積金を含む）
- (2) 融 資 15 問（管理・回収を含む）
- (3) 決 済 15 問（内国為替/手形・小切手/手形交換/電子記録債権等）
- (4) 銀行取引関連法 10 問（民法の基礎知識（行為能力や意思表示、委任等）や、顧客保護に関する法律知識（消費者契約法や個人情報保護法等）、銀行の業務に関する知識（銀行法や付随業務等）など、銀行取引に関連する法律知識）

〔合格基準〕 100 点満点中 60 点以上（試験委員会にて最終決定）

【現行科目構成】

〔出題形式・科目〕 五択一式 50 問（各 2 点）

- (1) 預 金 15 問（定期積金・内国為替を含む）
- (2) 融 資 20 問（管理・回収を含む）
- (3) 手形・小切手 10 問（手形交換を含む）
- (4) 銀行取引関連法 5 問（銀行法/民法/商法/会社法/金融商品販売法/消費者契約法、等）

〔合格基準〕 満点の 60%以上（試験委員会にて最終決定）

ただし、上記科目の(1)預金、(2)融資、(3)手形・小切手につき 40%以上の得点取得が合格条件。

2. 法務4級

【新科目構成】

〔出題形式・科目〕 三択一式 50 問（各 2 点）

- (1) 預 金 15 問
- (2) 手形・小切手 15 問（手形交換・電子記録債権を含む）
- (3) 融 資 10 問（管理・回収を含む）
- (4) 内国為替 10 問

〔合格基準〕 100 点満点中 60 点以上（試験委員会にて最終決定）

【現行科目構成】

〔出題形式・科目〕 三択一式 50 問（各 2 点）

- < 必須科目 > 預 金 20 問 手形・小切手 20 問（手形交換を含む）
- < 選択科目 > 内国為替 10 問 融 資 10 問（管理・回収を含む）

〔合格基準〕 満点の 60%以上（試験委員会にて最終決定）

ただし、各科目について、40%以上の得点取得が合格条件。